

授業概要

社会調査のプロセスにおいて、現地において実際に行う調査活動を総称して「フィールドワーク」という。広義には調査票を用いた量的調査もここに含むが、本講義においては質的調査に重点を置きながら、その意義と方法を学習する。

社会調査においては一般に、企画、設計、実査、データ整理、分析、報告、という手順をふむが、何よりも重要なのは「何をあきらかにしたいか」という問題意識とその質である。本講義においては社会学のフィールドワークや先行研究を参照しつつ、ワーキンググループの問題意識を具体的に立ち上げ、実際にフィールドワーク(学外授業)を行い、データを収集し、分析して、報告をする。その結果を報告書として取りまとめることまでを目的とする。

なお、フィールドワーク(学外授業)は随時実施するので、心得ておくこと。

授業計画

第 1 回	ガイダンス
第 2 回	問題意識とその対象、方法の検討
第 3 回	本調査の計画立案1
第 4 回	本調査の計画立案2
第 5 回	本調査1
第 6 回	本調査2
第 7 回	本調査3
第 8 回	データチェック
第 9 回	データの文字化1
第10回	データの文字化2
第11回	データ分析1
第12回	データ分析2
第13回	報告準備
第14回	調査結果の報告とディスカッション
第15回	報告書作成
第16回	報告書提出

到達目標

フィールドワークの方法や技法の習得

報告の実施、および、報告書の作成

インフォーマントとの交渉およびラポールの形成を通した社会性の習得

履修上の注意

本講義はフィールドワークを実際に行い、報告を行うことまでを目的とするため、ⅠとⅡを連続して受講することを求める。実際の調査を行うことから、受講者個々人が主体的、積極的に関わってほしい。授業形態はゼミ形式を採用する予定である。また、本調査は設定した回の前後に集中して行う予定。

予習復習

設定した自身の調査テーマに則した情報収集結果を毎回報告してもらう。

評価方法

平常点(授業態度等)40%、報告書内容60%

テキスト

テキストは指定しない。必要に応じてプリントを配布する予定である。